



I 第9週の発生動向 (2022/2/28~3/6)

1. 警報・注意報は発令されていません。

II 第9週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原 保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週 からの 増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科															0	
小児科	インフルエンザ															0
	RSウイルス感染症															0
	咽頭結膜熱	1	0.13	1	0.11			1	0.20					3	0.07	-4
	A群溶血性レン球菌咽頭炎											1	0.25	1	0.02	-1
	感染性胃腸炎	13	1.63	20	2.22	43	4.30	30	6.00	9	1.50	3	0.75	118	2.81	-46
	水痘															-5
	手足口病	1	0.13											2	0.05	-3
	伝染性紅斑															-2
	突発性発しん			4	0.44	5	0.50	2	0.40	1	0.17			12	0.29	7
ヘルパンギーナ															0	
流行性耳下腺炎															-3	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎															-1
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎															0
	無菌性髄膜炎															0

■は警報、■は注意報。「空欄」:患者報告無し。

感染症の窓



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (以下「CRE」という。) 感染症は、メロペネムなどのカルバペネム系抗菌薬及び広域β-ラクタム系抗菌薬に対して耐性を示す大腸菌や肺炎桿菌などの腸内細菌科細菌による感染症の総称です。

CRE 感染症は、主に免疫機能が低下した患者や外科手術後の患者、抗菌薬を長期間使用している患者などに発症し、肺炎などの呼吸器感染症、尿路感染症、その他多様な感染症を引き起こし、しばしば院内感染の原因になります。

青森県の人口 10 万人当たり報告数は、2018 年まで全国と同様に推移していましたが、2019 年から急増し、全国と比較して多い状態が続いています(図)。

健康な日常生活を送っている方々は、CRE を過度に心配する必要はありませんが、複数の診療科から抗菌薬を処方され服用している方は、十分な注意が必要です。

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞[カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 \(国立感染症研究所 HP\)](#)

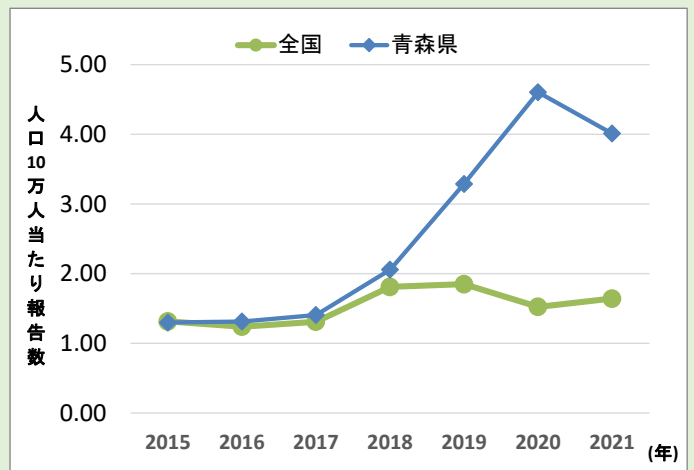


図: 全国及び青森県における人口 10 万人当たり CRE 感染症患者報告数 (2015 年~2021 年)



III 全数把握対象疾患

- ・結核（二類感染症）：三戸地方1人、八戸市1人 (2022年計：33人)
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）：弘前1人 (2022年計：2人)
- ・侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）：弘前1人 (2022年計：2人)

IV 病原体検出情報

報告はありませんでした。

V 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況 (2022年第6週～第9週)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
6	侵襲性肺炎球菌感染症1人					
7						
8	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人				
9		劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人				

- ・第8週に弘前保健所管内で劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人の届出がありましたので、追加しました。

VI 結核(二類感染症) (2022年第6週～第9週) (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
6	1	1	1	1		
7	1		1	1	2	
8	1		1		1	
9			2			

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2022年第1週～第8週までの累計）

分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	回帰熱	重症熱性血小板減少症候群	つつが虫病	日本紅斑熱
累積報告数	1862	3	114	65	12	1	2	4	41	4
分類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	日本脳炎	ポツリヌス症	ライム病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	1	1	2	160	65	28	191	2	42	34
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風
累積報告数	112	125	4	30	1	170	31	1402	21	7
分類	五類	五類	五類	五類	五類					
疾病名	バンコマイン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症					
累積報告数	20	82	1	1	1					

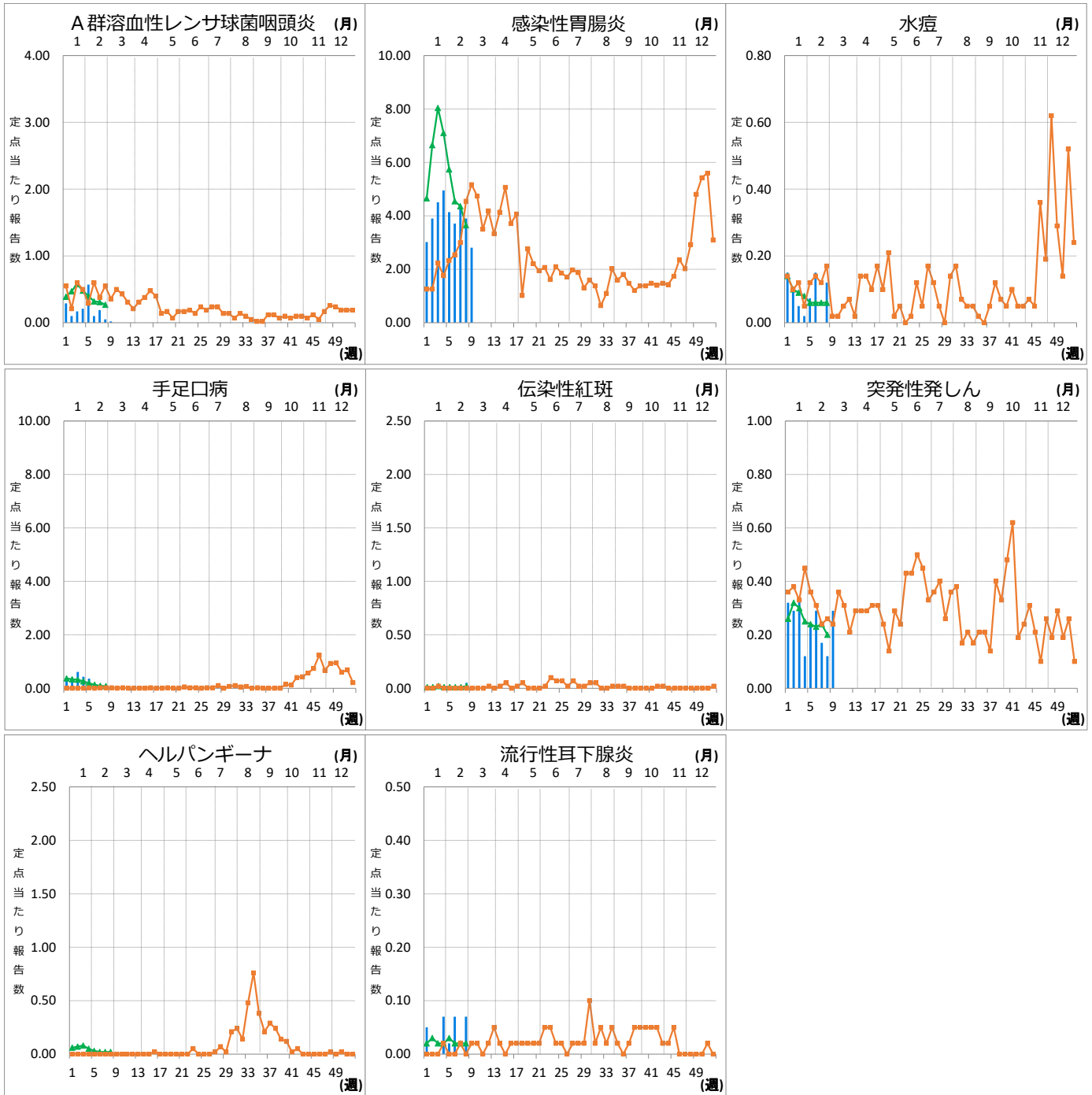
青森県（2022年第1週～第9週までの累計）

分類	二類	三類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒
累積報告数	33	1	1	5	2	2	2

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2022年第9週、ただし全国は前週）

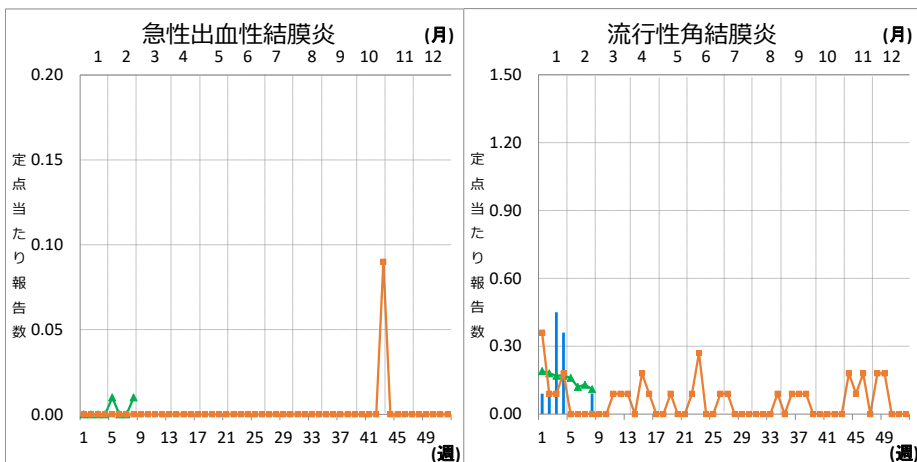
グラフの説明 ■は2022年青森県、■は2021年青森県、▲は2022年全国





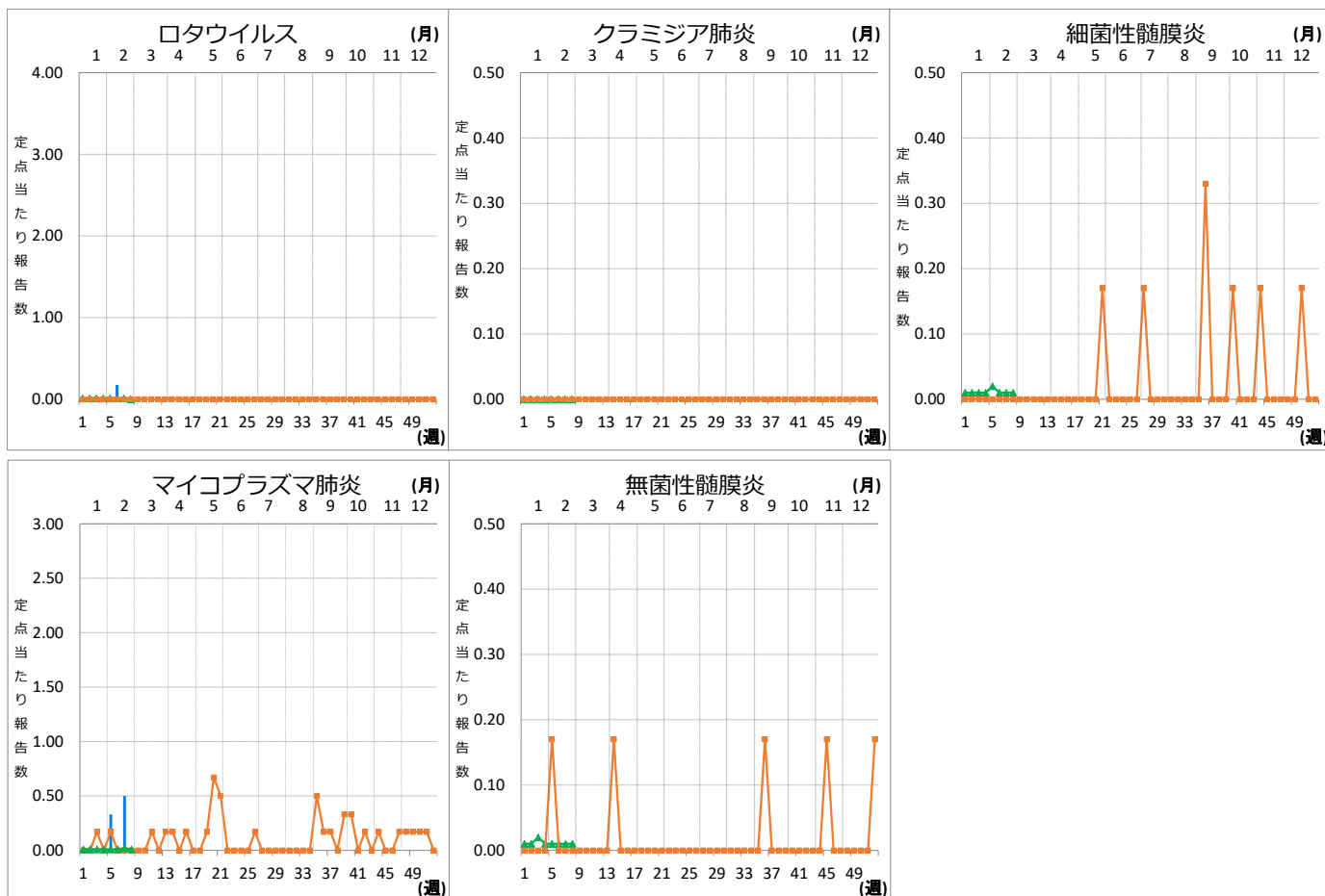
Ⅹ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2022年第9週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ← 2022年青森県、2021年青森県、2022年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2022年第9週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2022年青森県、 は2021年青森県、 は2022年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2022年第9週

報告はありませんでした。

2022年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0
児童・婦人関係施設等	件数	6	2	0	8
	発症者数	157	29	0	186
障害関係施設	件数	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0
その他施設	件数	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0
計(月別)	件数	6	2	0	8
	発症者数	157	29	0	186